

# 釧路 KUSHIRO

第63回歯科医師野球大会慰労会&優勝祝勝会  
日時：平成24年7月21日(土)午後7時より  
場所：釧路プリンスホテル

無事に終了した野球大会の釧路歯会員への慰労と、釧路AチームのBゾーン優勝を祝うため、盛大に慰労・祝勝会が開催されました。優勝旗を囲み、中村会長やA・Bチーム監督らからスタッフへの慰労の言葉と優勝へのお祝いの言葉がありました。スライドショーやビデオも映し出され、大会を回想しながら多に盛り上がりました。(窪田正樹記)



第63回歯科医師野球大会慰労会&優勝祝勝会

歯科衛生士ガイダンス  
日時：平成24年7月22日(日)10:00～13:00  
会場：釧路歯科医師会会館 2階 大講堂  
超高齢化社会を迎え「健康に年老いる」という事が再認識され、歯科医療は治療から予防へと変化していますが、釧路、根室地域では予防業務の主役である歯科衛生士の数が不足



歯科衛生士ガイダンス  
しています。

その問題を解決すべく、釧路、根室地域で歯科衛生士を目指す人材を創出するために歯科衛生士ガイダンスを開催し、来春卒業予定の高校生7名の参加がありました。

当日は中村会長の挨拶から始まり、歯科衛生士の仕事を紹介したDVD上映、道歯衛生士会理事千田優美さんより、歯科における歯科衛生士の役割の説明、道内にある10校の歯科衛生士専門学校の担当者より、学校案内が行われました。

その後、各学校毎にブースを設け、各自興味のある学校を回って、熱心に詳しい内容を聞いていました。(吉井透記)

8月 三木会(さんむくかい)「納涼ビール例会」  
日時：8月9日(木)PM7:00より  
場所：『BAR YOKOHAMA』

避暑地として知名度を上げている釧路ですが、それなりに暑い日が続いています。この時期、毎年恒例の三木会「納涼ビール例会」が開催されました。

田中担当理事の司会進行、中村会長の乾杯の挨拶にて、盛大に開会しました。例会では、尾高先生によるスチールギターでのハワイアン

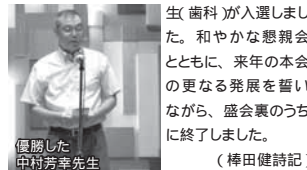
演奏のサプライズがあり、出席者一同おおいに癒されました。例会には会員28名の出席がありました。盛り上がった例会は、中谷副会長の閉会の乾杯で終了しました。(窪田正樹記)



演奏する尾高先生

第18回釧路歯会ゴルフ競技大会  
日時：平成24年8月26日(日)  
場所：釧路カントリークラブ東コース

時折小雨の降る生憎の天気の中、午前8時に医師会11名、歯科医師会15名、薬剤師会8名、総勢34名(9組)の参加者が、アウトインに分かれスタートしました。雨も大降りになることもなく、無事ラウンドを終えた後は、午後6時から釧路キャッスルホテルにて総会及び表彰式が行われました。成績上位者5名による団体戦は、歯科医師会が優勝し、その数を9回目とし医師会に並びました。個人戦は、中村芳幸先生(歯科)がグロス79で念願の初優勝を果たしました。また、準優勝には金安伸一先生(薬剤)3位にはベスグロ74の林雅輝先生(歯科)が入選しました。和やかな懇親会とともに、来年の本会の更なる発展を誓いながら、盛会裏のうちに終了しました。(棒田健詩記)

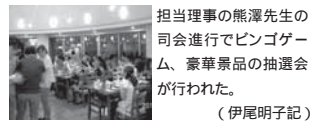


優勝した中村芳幸先生

# 苫小牧 TOMAKOMAI

夏だ!ビールパーティー  
日時：平成24年8月10日(金)午後7時より  
場所：グランドホテルニュー王子1Fハルニレ

昨年は北海道歯科医師野球大会主催のため行われなかったが、従業員および家族対象のレクリエーションとして例年大好評のビールパーティーが会員29名、従業員47名、家族15名、事務局2名の計93名が参加して開催された。連日の暑さに冷えたビールの杯がすすみ、パイキング形式のご馳走を満喫する中、当歯会厚生



担当理事の熊澤先生の司会進行でビンゴゲーム、豪華景品の抽選会が行われた。(伊尾明子記)



厚生部員の先生方

# 北見 KITAMI

北見歯科臨床集談会  
日時：平成24年8月11日(土)午後3:00より  
場所：北見歯科医師会館  
演題：「ここまで出来るコンボジットレジン充填」

講師：岡口歯科クリニック 岡口守雄先生(東京都千代田区開業)

CR修復は保険診療でも日常的に行われる治療ですが多くは肉眼・眼鏡下あとはよくルーペ下での修復を行います。

今回はマイクロスコープを用いてCR修復を自費診療で日々の臨床で行っている日本で数少ない先生です。そんな先生の貴重な症例を時間の許す限り見せて頂き、さらには実際に会場内でCR修復のデモも行われ、その仕上がりの精度の違いに講習受けた先生たちも驚きを隠せない様子でした。

終了後の懇親会・2次会では講演中には出てこなかった貴重なお話を聞く事が出来ました。

今後、歯科治療を行う上でマイクロスコープ下による診療が主流になると改めて感じました。岡口先生ありがとうございました。(飯田唯勝記)



デンタルタウンミーティング・道東三歯会連絡協議会  
日時：平成24年9月1日(土)14:00より  
場所：北歯会館

道歯から富野会長、紺野専務理事、後藤常務理事に來北していただきデンタルタウンミーティングが開催された。会務報告、平成24年診療報酬改定、平成25年制度予算に関する要望、歯科口腔保険の推進に関する基本事項、歯科医師会館問題などについて説明報告があった。

デンタルタウンミーティング終了後引き続き道東三歯会連絡協議会が行われた。

富野会長より中央情勢報告に続き、各地区から1：各都市区歯会の会長選挙および役員選定について(北見) 2：今後の会費および入会時負担金について(釧路) 3：訪問歯科診療および周術期口腔ケアの取り組みについて(十勝・報告事項) 4：歯科医院の広告に対する対応について(釧路) 協議・報告があった。

釧路地区・十勝地区の現状ならびに情報を得ることができ、有意義な協議会であった。この場をお借りしてお礼申し上げます。(山本倫史記)



道東三歯会

# 旭川 ASAHIKAWA

医療管理調査部講習会  
日時：8月25日(土)午後3時より  
場所：旭川歯科医師会館

第1部では歯科診療における全体的偶発症に対する救急・救命処置・救急常備薬の使い方と題して医療法人回生会 大西病院 歯科口腔外科部長 鳥谷部純行先生による講演が行われました。

緊急時での救急薬品の説明と、歯科診療所での一次救命処置の重要性(119番通報 胸骨圧迫 心臓マッサージ) AED・除動機を再確認する貴重な内容でありました。

第2部では、歯科に生きる-安全・安心の歯科医療のためにと題して、北海道歯科医師会が講習会用に作製したスライドを使用して医療事故対応や医療安全対策等についての説明があり、参加者からの活発な意見の交換もありました。尚、本講習会は歯科外来診療環境体制加算における施設基準に係る研修会となっており、参加者に修了証が渡されました。(伊藤直人記)



医療管理

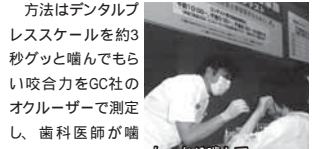
噛むことの重要性を楽しく理解

旭川でも残暑厳しい8月25日(土曜)・26日(日曜)旭川地場産振興センターにおいて、「しっかり噛んで健康家族、チューイングコンテスト」が開催されました。この催しは、噛むことが健康と深いかわりを持つことを広く一般の方々に楽しみながら理解してもらうことを目的とし、NHK文化センター、NHK旭川放送局が主催し、歯科医師会がお手伝いをいたしました。

方法はデンタルプレススケールを約3秒グッと噛んでもらい咬合力をGC社のオクルーザーで測定し、歯科医師が噛むことのアドバイス

を行います。咬合力の強かった参加者(大人5名、子供5名)には、認定書・記念品が贈呈されます。咬合力(単位はニュートン)は体重×約10倍といわれますが、中には大人2,000N、子供でも1,000Nを超える方も続出して驚かされました。測定中や、表彰式の間、会場内では噛むことや齧傷予防についてのクイズも行われ、歓声がわき上がっていました。

会場では、道北の物産展も行われており、会場の熱気で汗だくになりながらも、1日1回につき60名を3回、2日間に渡り行い、無事終了しました。(加我英史記)



しっかり噛んで

# 美唄 BIBAI

高齢者の歯のコンクール  
日時：平成24年9月7日(金)午後2時より  
場所：孫歯科医院

からりと晴れ上がった初秋の昼下がり、本年度の高齢者歯のコンクールが行われた。参加者は5人でした。まだ何名が参加予定でしたが体調不良などで直前に辞退された方も数名あり残念な限り。

参加者は例年通り当コンクールと合わせ、後日行われる美唄市の高齢者福祉大会で全員を



高齢者の歯のコンクール

表彰する予定。近年、美歯会カレンダーに写真を掲載していることもあっての認知効果なのか、年々参加希望者も増えてきたことは喜ばしい限り。今回もそれぞれの方のレベルが高く、1、2位の方の選考には一苦勞しました。道歯会の審査にも参加して頂く予定です(清川真彦記)

口腔内科学分野生涯研修プログラム認定研修会  
日時：平成24年9月6日(木)午後6時40分より  
場所：美唄ホテルスエヒロ

講師：北海道医療大学歯学部生体機能・病態学系 齋藤口腔病理学分野 安彦善裕教授  
演題：全身の変調と口腔症状  
臨時総会終了後、認定研修会が行われた。

ドライマウス、舌痛症などの多くは歯科心身症の範疇にあり、ほとんどの歯科心身症は様々なストレスなどにより増悪、また歯科治療が引き金になって発症することを理解しなければならぬし、それぞれの各論、診断のポイント等、また豊富な臨床経験から、投薬の可否などご講演いただいた。最後に、歯科心身症は精神科、心療内科

に丸投げするのではなく我々がその診断、治療に積極的に介入して行く必要があること、さらに我々歯科医師が、地域の家庭医たるプライマリケア医の役割を果たしていくべきであると締めくくられた。

講演会終了後は講師を囲んで懇親会が行われた。(清川真彦記)



口腔内科学分野